

地域全体で子どもたちを育む 旭市子ども会育成連絡協議会

市内58団体の子ども会が加入する「旭市子ども会育成連絡協議会」では、子どもたちにさまざまな体験や交流の機会を提供することで、子ども会の活性化と子どもたちの健全育成を目指しています。

体験・交流事業の開催

協議会では、デイキャンプ、かるたレク交歓会、パークゴルフ大会などを行っています。本年度は新たな企画として「もちつき体験」を開催。36人の親子が石臼ときねを使った昔ながらの餅つきを体験し、つくたてのお餅をみんなで味わいました。



力いっぱい餅をつく児童

ジュニア・リーダー初級講座

ジュニア・リーダーとは、子ども会を中心とした地域活動に参加する青少年ボランティアです。協議会では、市内の小学5・6年生を対象に「ジュニア・リーダー初級講座」を毎年開催しています。本年度は44人が受講し、海上キャンプ場でのカレー作りや、県立水郷小見川青少年自然の家で1泊2日の宿泊研修を行い、リーダーとして必要なことを学び、親睦を深めました。

講座では、中学・高校生を中心に組織するジュニアリーダーズクラブが受講生をサポートしていて、小学生から高校生までの異年齢交流の場にもなっています。

この取り組みを通じて、子どもたちが豊かな人間性と社会性を身に付けることで、将来への自信につながることが期待されます。



受講生とジュニアリーダーズクラブ

広報で振り返る

あの日あのときのあさひ

第18回

1982年(昭和57年) 3月号

このコーナーでは過去の広報を紹介し、その時代を振り返ります。

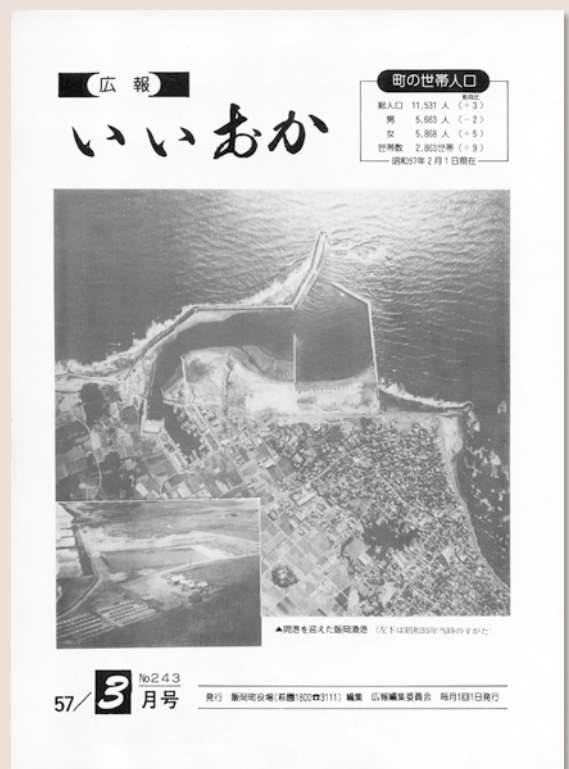
今回は広報いいおか昭和57年3月号を紹介します。

この号では、飯岡漁港の開港式を報じています。昭和32年に町営事業として建設工事が開始され、その後も国や県へ働きかけ、昭和39年からは県営漁港として工事が進められました。

着工から25年の歳月をかけ、安心して利用できる漁港が完成しました。盛大に開催された式典では、芸能保存会による演芸や、漁船70隻による勇壮な海上パレードなどで開港を祝いました。



開港式の様子



表紙(上空から見た飯岡漁港)